岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室

算数【小4】指導カリキュラム

指導ユニット・指導内容・『指導語彙・表現』

テキスト，プリント

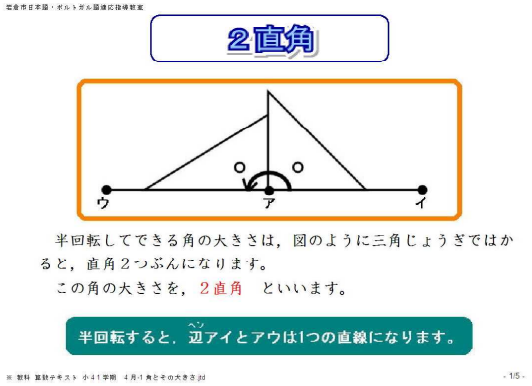
H27　改訂

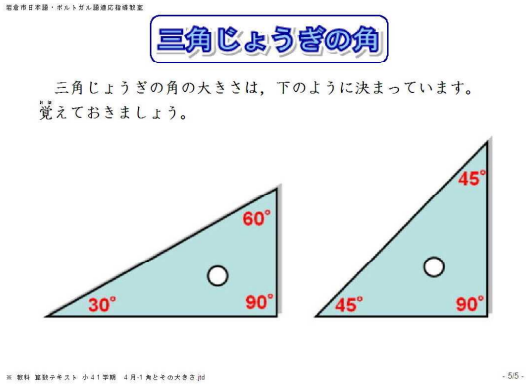
算数　小4　4月　ユニット・指導内容・『指導語彙・表現』ﾃｷｽﾄ，ﾌﾟﾘﾝﾄ

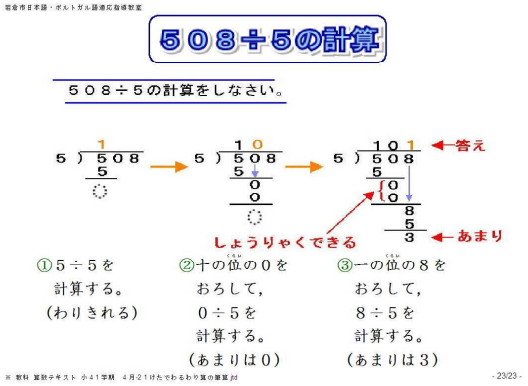
単元・ユニット	指導内容　『指導語い・表現』　S3　中級　S4　上級
1　角とその大きさ【7】	★角の大きさを回転の大きさとしてとらえることができる。また，角の大きさの測定と，ある大きさの角を作図することができる。
①　角のはかり方とかき方	角度の単位について知り，分度器を使って角の大きさを測定する。 〇半回転の角…180°　〇一回転の角…360°　〇180°をこえる角の測定 〇360°までの角のかき方 ・角は，直線が辺アイの位置から辺アウの位置までまわってできる形とみることができます。このとき，直線がどれだけまわったかで，角の大きさがきまります。 ・角の大きさをはかるには，分度器を使います。 ・度(°)は，角の大きさの単位です。角の大きさのことを角度ともいいます。 『直角・・・90°』 ・おうぎを開いていったとき，半回転や一回転してできる角の大きさを調べましょう。
②　三角形の角	〇正三角形の３つの角が等しいこと 〇二等辺三角形の底角が等しいこと 〇角の大きさに着目した正三角形のかき方 ・正三角形では，3つの角はどれも60°になっています。
③　三角じょうぎの角	三角定規の角の大きさを知り，１組の三角定規を組み合わせてできる角の大きさをよんだり，つくったりする。 〇直角のしるし 〇三角定規の角の大きさ，三角定規を使った角の大きさの和と差 『角のかき方』 ①　直線アイをかく。 ②　分度器の中心を点アにあわせる。 ③　0°の線を辺アイにあわせる。 ④　0°の目もりのところに点ウをうつ。 ⑤　点アと点ウを通る直線をかく。
2　1けたでわるわり算の筆算【11】	★（2，3位数)÷(1位数）のわり算の筆算の仕方を理解する。また，(2位数)÷(1位数)で商が２桁になる計算が暗算でできる。
①　答えが何十・何百になる計算 ②　2けた÷1けたの筆算 ③　3けた÷1けたの筆算	答えが何十･何百になるわり算の計算の仕方 （2けた）÷（1けた）の筆算の仕方 （3けた）÷（1けた）の筆算の仕方

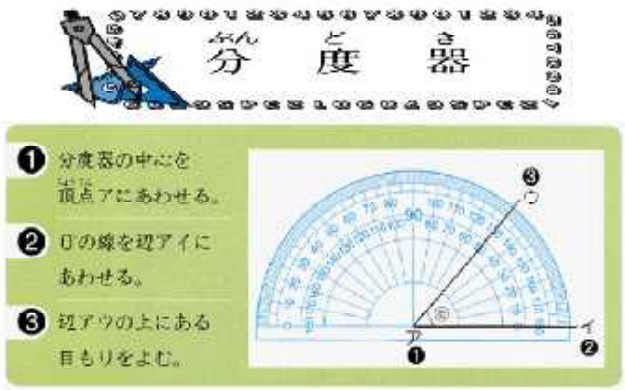
④　暗算		簡単な（２けた）÷（１けた）の暗算 ・1こ分のねだんを求めるから，わり算になります。 ・10のいくつ分という意味にもどって考える。 ・わり算の答えを商といいます。 ・たてて→かけて→ひいて→おろすの順に計算すればいい。 ・答えのたしかめをしましょう。【(わる数)×(商)＋(あまり)＝(わられる数)】

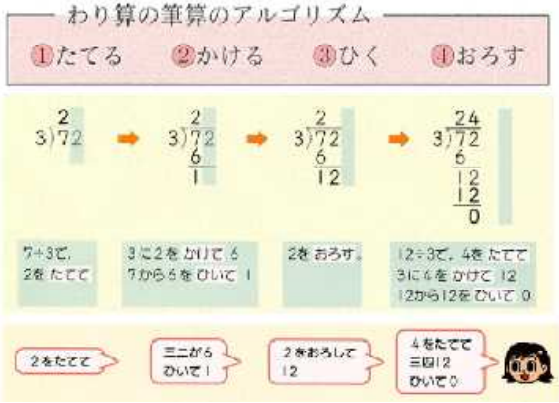
【指導の流れ】　①語彙・表現・テキスト　→　② プリント(問題)　→　③ テスト　→　④評価　→　⑤課題

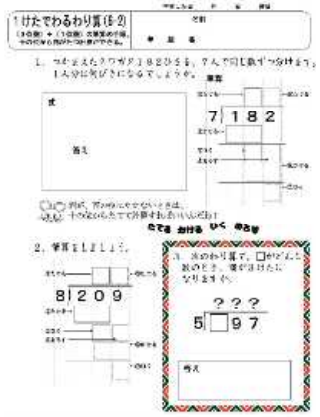




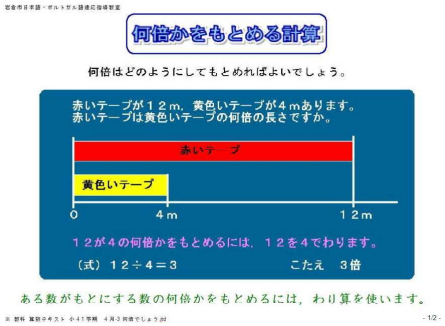
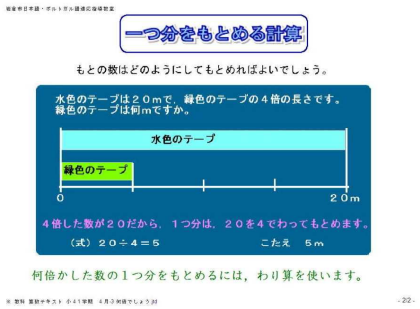
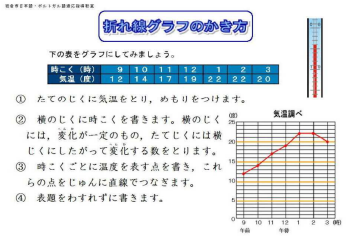


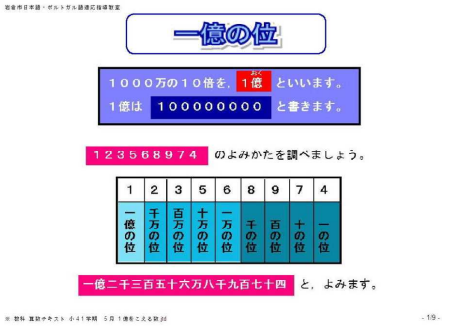






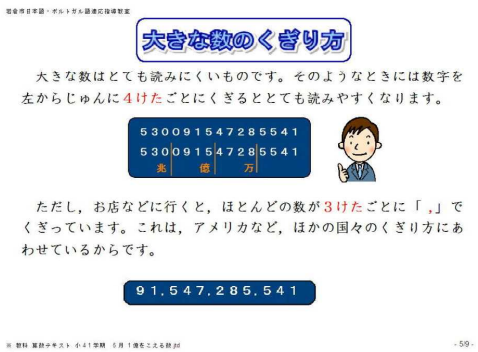
算数　小4　5月　ユニット・指導内容・『指導語彙・表現』ﾃｷｽﾄ，ﾌﾟﾘﾝﾄ

単元・ユニット	指導内容　『指導語い・表現』　S3　中級　S4　上級
○　何倍でしょう【2】  	★３要素２段階の逆思考の問題を，オペレータ（変量）に着目し，何倍になるかを考えて解くことができる。 □×ａ×ｂ＝ｃの関係にある問題を２通りの考え方で解く。問題の数量間の関係を関係図に表して，何倍になるかを考えて解く。 
３　折れ線グラフ【5】 ①　変わり方を表すグラフ ②　折れ線グラフのかき方	★折れ線グラフのよみ方やかき方を理解する。 ○変わり方の大小とグラフの傾き ○２つの折れ線グラフ（東京とシドニーの月別気温） ・折れ線グラフでは，線のかたむきぐあいで，変わり方のようすがわかります。 ・折れ線グラフでは，変わり方の大きいところほど，線のかたむきが急です。 『折れ線グラフのかき方』 ①　表題をかく。 ②　横に時こくをとり，目もりをつける。 ③　たてに気温をとり，目もりをつける。 ④　それぞれの時こくの気温を表す点をうつ。 ⑤　点を順に直線でつなぐ。 ・　〰〰　は，一部分を省いてある印です。 
４　1億をこえる数【7】 ①　億と兆	★億や兆をこえる数の表し方や仕組みに関心をもち，数のよみ方やかき方を理解する。 「十億」の位までの数を正しくよむ 一億，一兆をこえる数の仕組みを理解し，それらの数をよむ



・千億の10倍を一兆といいます。一兆は一億の10000倍です。
・右から順に4けたごとに区切るとよみやすくなります。
・どんな大きさの数でも0,1,2,3,4,5,6,7,8,9の10この数字でかき表すことができます。

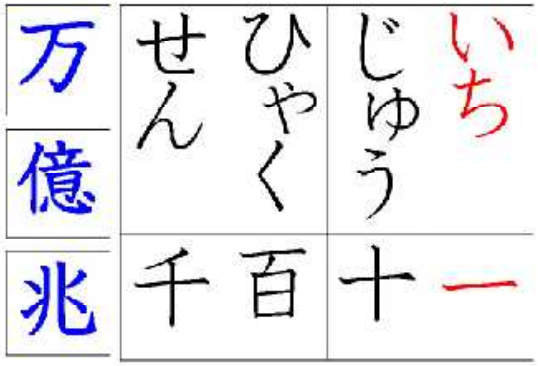
② 大きな数のかけ算

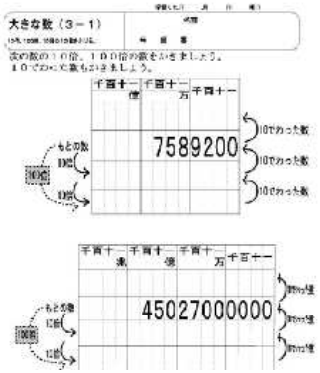


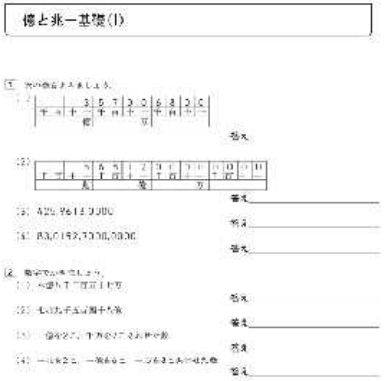
（３位数)×(３位数）の筆算の仕方
〇375×135の筆算の仕方　　〇314×807の筆算の仕方
末尾に０や万のつく大きな数のかけ算
〇計算の工夫（3500×2700，3500×270)
〇100×100＝１万，(一万)×(一万)=(一億)

・どんな数でも，各位の数字は10倍すると位が1つ上がり，10でわると位が1つ下がります。
・かけ算の答えを積といいます。

【指導の流れ】　①語彙・表現・テキスト　→　② プリント(問題)　→　③ テスト　→　④評価　→　⑤課題



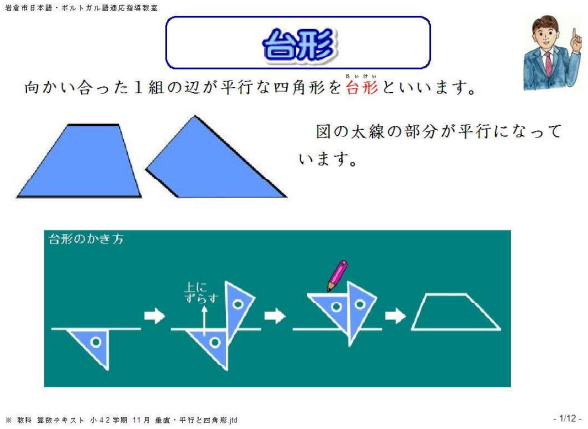


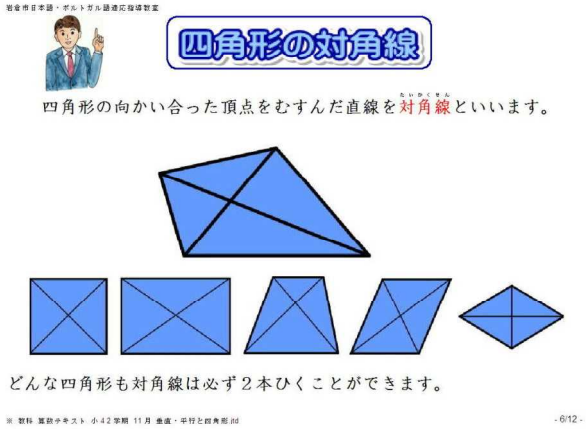


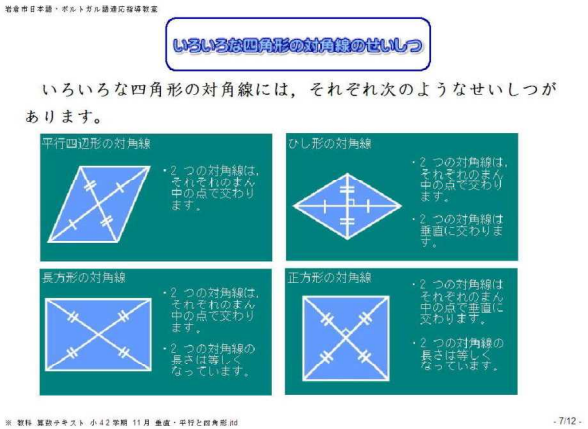
算数　小4　6月　ユニット・指導内容・『指導語彙・表現』ﾃｷｽﾄ, ﾌﾟﾘﾝﾄ

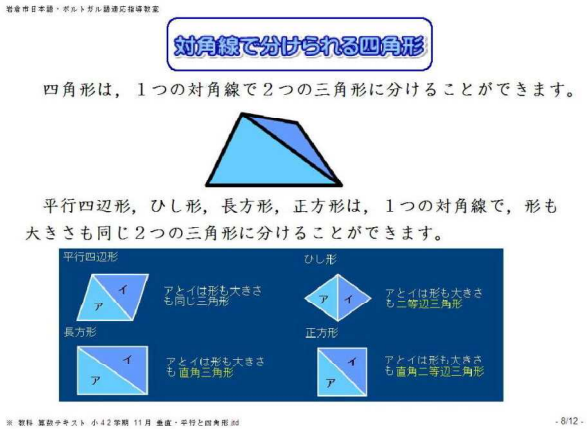
単元・ユニット	指導内容　『指導語い・表現』　S3　中級　S4　上級
5　垂直・平行と四角形【13】	★平面上の２直線の垂直や平行の関係について知り,垂直や平行な直線をかくことができる。また，台形，平行四辺形，ひし形とそれらの辺や角，対角線の性質について理解する。
①　垂直[すいちょく]と平行	○いろいろな交わり方 ○垂直の意味　○交わっていない２直線の垂直　○平行の意味 ・2つの直線が交わってできる角が直角のとき，この2つの直線は垂直[すいちょく]であるといいます。 ・1つの直線に垂直[すいちょく]な2つの直線は平行であるといいます。 ・平行な2つの直線のはばは，どこをはかっても同じです。 ・垂直[すいちょく]や平行になっている辺の組をみつけましょう。
②　垂直や平行な直線のかき方	○１組の三角定規を使った，垂直な直線や平行な直線のかき方 ○方眼を利用した垂直や平行な直線のみつけ方や垂直や平行な直線のかき方
③　四角形	○台形と平行四辺形の分類と定義 ○平行四辺形の辺と角についての性質 ○ひし形の定義と性質 ○対角線の用語と意味 ・向かいあった1組の辺が平行な四角形を台形といいます。 ・向かいあった2組の辺がどちらも平行になっている四角形を平行四辺形といいます。 ・辺の長さがみんな等しい四角形をひし形といいます。 ・ひし形の向かいあった辺は平行です。向かいあった角の大きさは等しくなっています。 ・四角形の向かいあった頂点[ちょうてん]を結んだ直線を対角線といいます。 ・ひし形の2つの対角線は垂直[すいちょく]で，それぞれのまん中の点で交わります。

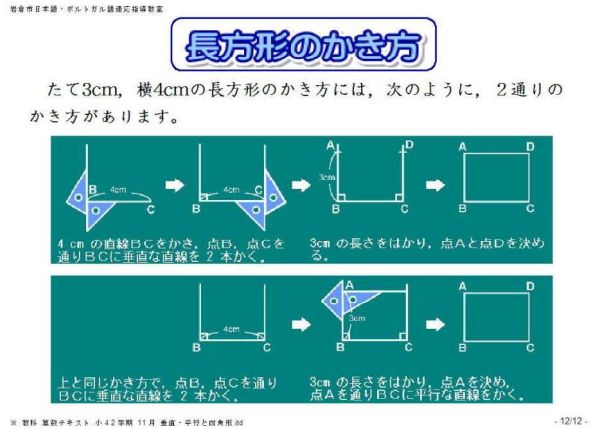
【指導の流れ】　①語彙・表現・テキスト　→　② プリント(問題)　→　③ テスト　→　④評価　→　⑤課題

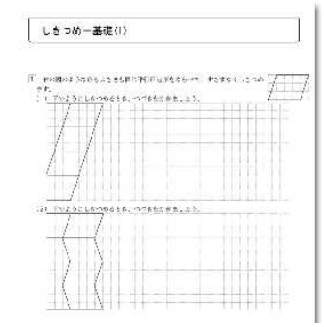


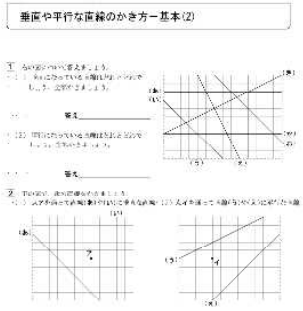




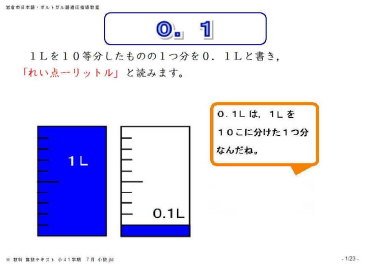
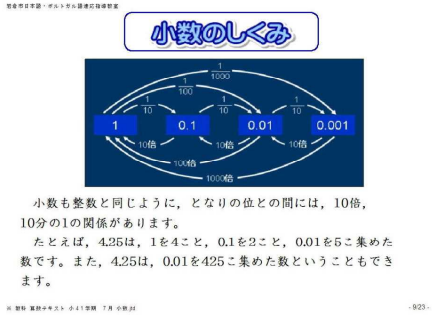
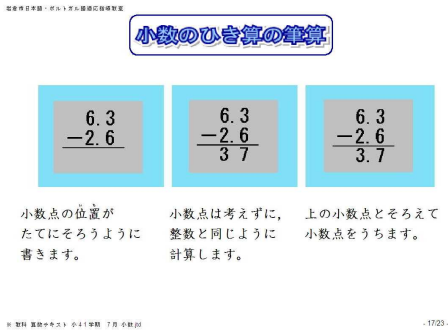




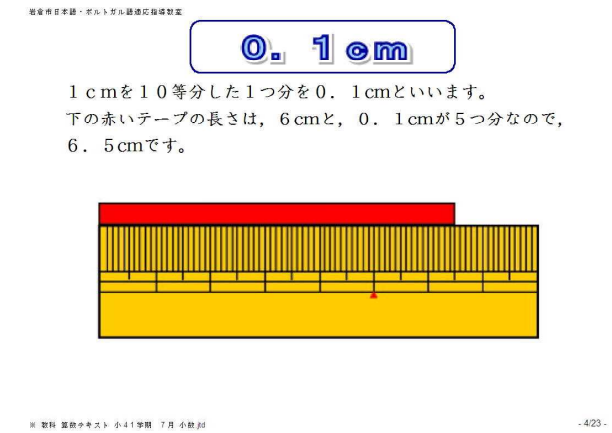


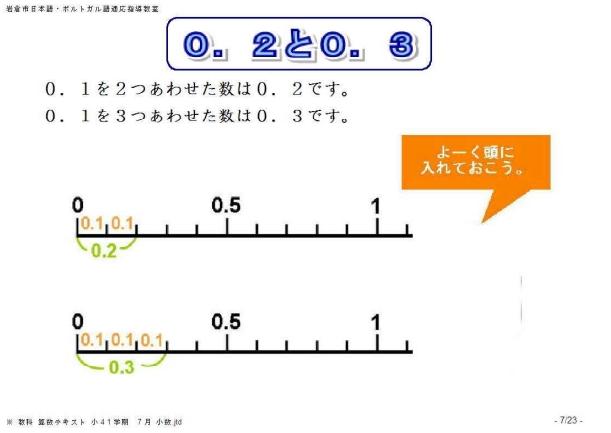


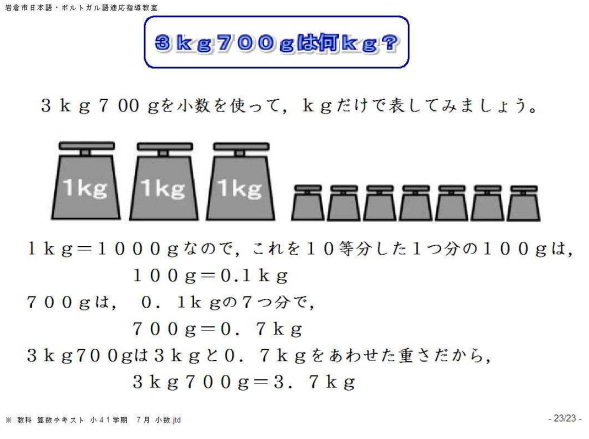
算数　小4　7月　ユニット・指導内容・『指導語彙・表現』テキスト，プリント

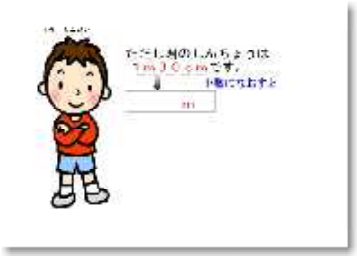
単元・ユニット	指導内容　『指導語い・表現』　S3　中級　S4　上級
6　小数【9】	★１/100の位や１/1000の位の小数の仕組みや表し方を知る。また，それらについての加減の計算ができる。
①　小数の表し方  	○１/100の位の小数の表し方 ○１/1000の位の小数の表し方 　○小数のよみ方 ・かさを，Ｌを単位にして表しましょう。 ・はしたは，0.1Ｌを何等分して考えればよいですか。 ・0.001(れい点れいれいー) ・1.289(ー点ニハ九)
②　小数のしくみ  小数も整数と同じように，となりの位との間には，10倍，10分の1の関係があります。 たとえば，4.25は，1を4こと，0.1を2こと，0.01を5こ集めた数です。また，4.25は，0.01を425こ集めた数ということもできます。	○１，0.1，0.01，0.001の相互の関係 ○１/1000の位までの小数の構成 　○小数点から右の各位の用語 ・0.1，0.01，0.001は1の何分の1ですか。 　数直線を見て考えましょう。 ・1は，0.1，0.01，0.001の何倍ですか。 ・小数も整数と同じように，各位の数字は，10倍すると位が1つ上がり，10でわると位が1つ下がります。
③　小数のたし算・ひき算	○１/100の位の加法の筆算 （4.27＋3.17，７＋3.51，6.03＋2.97） ○１/100の位の減法の筆算 （9.87－7.56，4.34－3.92，2.53－0.55－2.76） 

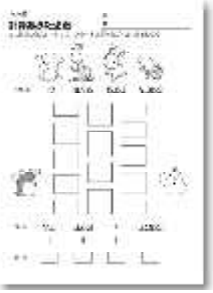
【指導の流れ】　①語彙・表現・テキスト　→　② プリント(問題)　→　③ テスト　→　④評価　→　⑤課題

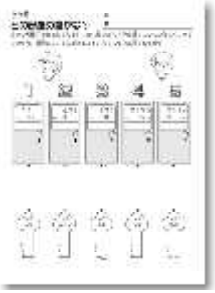




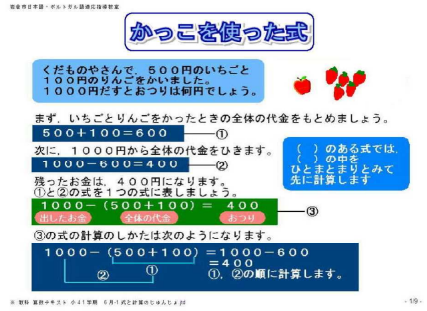
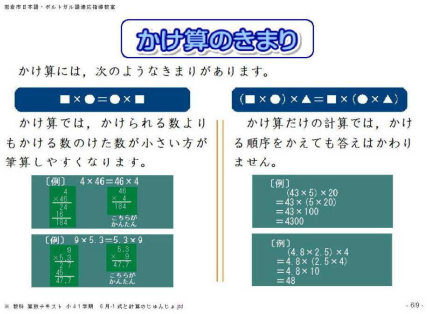
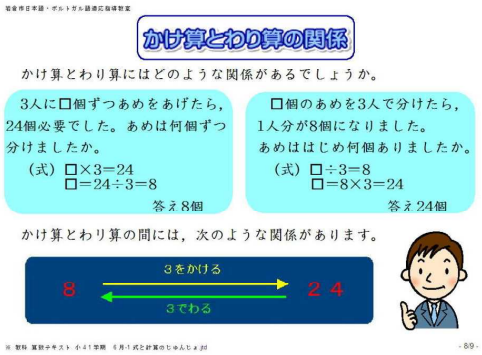


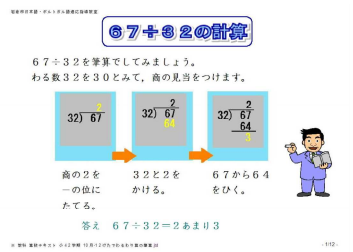




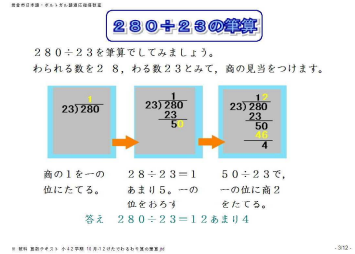


算数　小4　9月　ユニット・指導内容・『指導語彙・表現』テキスト，プリント

単元・ユニット	指導内容　『指導語い・表現』　S3　中級　S4　上級
7　式と計算のじゅんじょ【8】 ①　式と計算のじゅんじょ  ②　計算のきまり ③　計算の間の関係 ④　式のよみ方  	★（　）を用いた式や四則混合の式について，計算の順序を知り，計算のきまりについての理解を深める。また，式を見て具体的場面を想起し，説明することができる。 言葉の式をもとに（ ）を使って１つの式に表す。また，（ ）の中を先に計算して処理する。 〇500－(180＋90) と60÷(２×３) の計算の順序 四則が混合している式では，乗除を先に計算する　　計算の順序ときまり ・ことばの式をもとにして，（　）を使って1つの式にかくことを考えましょう。 ・たし算やひき算と，かけ算やわり算とがまじった式では，かけ算やわり算をさきに計算するきまりになっています。 『計算の順じょ』 ・ふつう，左から順にします。 ・（　）があるときは，（　）の中をさきにします。 ・＋，－と，×，÷とでは，×，÷をさきにします。 〇 (60±40)×５＝60×５±40×５が成り立つこと 　〇分配法則，交換法則，結合法則のたしかめ 　〇小数の加法の交換法則，結合法則を使った計算 〇計算の工夫（45＋92＋８，25×36，99×56） 『（　）を使った式のきまり』 ・(■＋●)×▲＝■×▲＋●×▲ ・(■－●)×▲＝■×▲－●×▲ 『計算のくふう』 ・92＋8＝100であることから考えましょう。 ・25×4＝100であることから考えましょう。 ・99＝100－1であることから考えましょう。 ・次の問題を□を使った式に表して，□にあてはまる数を求めましょう。 ・□の数は，どんな計算で求められますか。 
8　2けたでわるわり算の筆算【11】 ①　何十でわるわり算	★２位数でわる筆算の仕方を理解し，答えを求めることができる。また，わり算について成り立つ性質を知り，活用することができる。 (何十)÷(何十) で商が１位数になる計算をする。

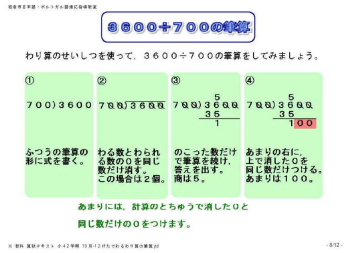


②　商が1けたになる筆算
③　商が2けた，3けたになる筆算



④　わり算のせいしつ

〇余りのない計算
〇余りのある計算
〇わる数×商＋余り＝わられる数での答えのたしかめ
・(80÷30)－10円玉の8こと3こをくらべて，商を2と見当をつけます。
・30を2倍してみると60で，20あまります。

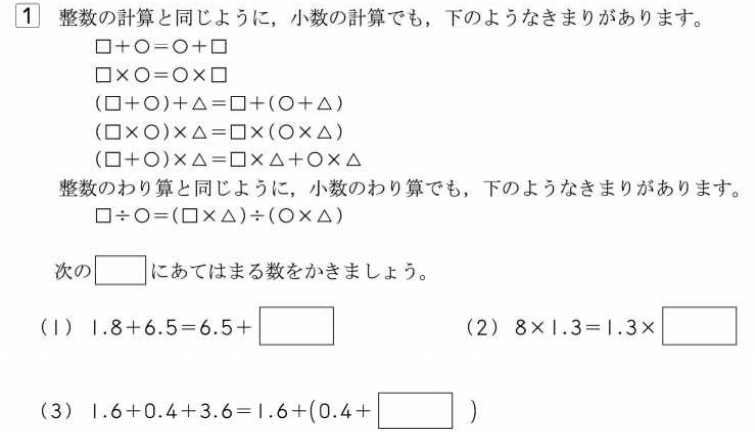


（２位数)÷(２位数）の商の見当づけによる筆算の仕方
（３位数)÷(２位数）で，商が２位数になる筆算の仕方
（４位数)÷(２，３位数）の筆算の仕方

・96を90，32を30とみて，90÷30から商の見当をつけましょう。
・商はどの位からたちますか。
・見当をつけた商が大きすぎたときは，1ずつ小さくすればいい。

わり算の性質を活用して，工夫した計算をする。
・6500÷250 → (10でわる) → 650÷25 → (5でわる) → 130÷5

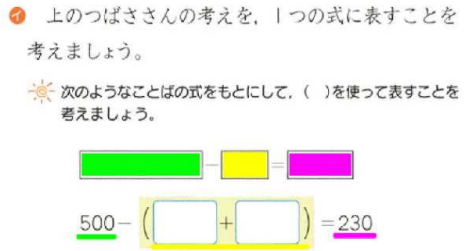
【指導の流れ】　①語彙・表現・テキスト　→　② プリント(問題)　→　③ テスト　→　④評価　→　⑤課題

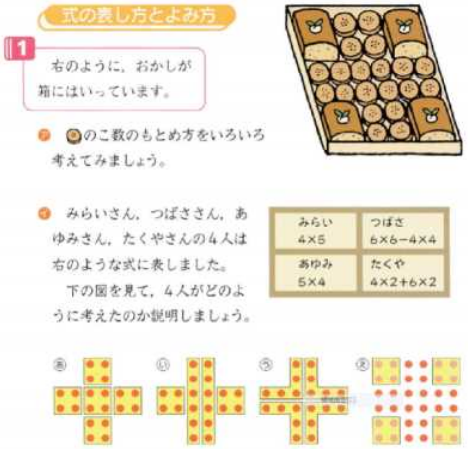

1　整数の計算と同じように，小数の計算でも，下のようなきまりがあります。
□＋○＝○＋□
□×○＝○×□
(□＋○)＋△＝□＋(○＋△)
(□×○)×△＝□×(○×△)
(□＋○)×△＝□×△＋○×△
整数のわり算と同じように，小数のわり算でも，下のようなきまりがあります。
□÷○＝(□×△)÷(○×△)

次の□にあてはまる数をかきましょう。

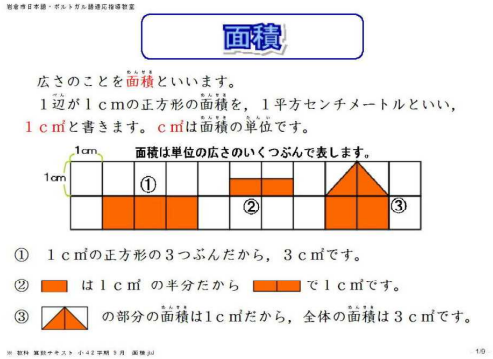
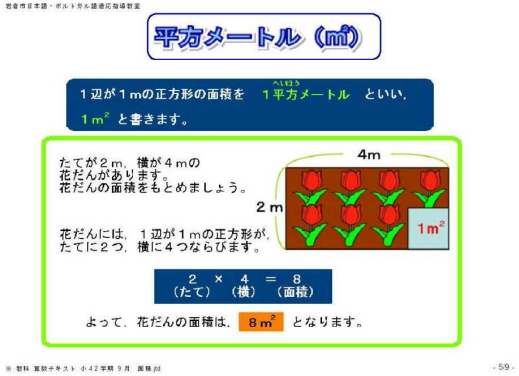
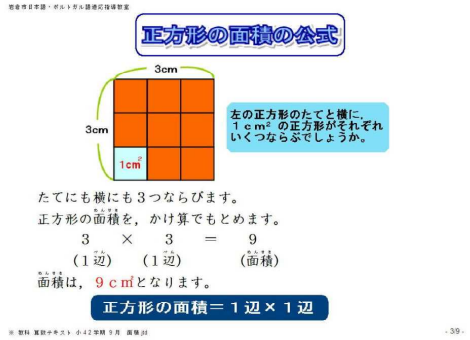
(1)　1.8＋6.5＝6.5＋□　　(2)　8×1.3＝1.3×□

(3)　1.6＋0.4＋3.6＝1.6＋(0.4＋□)

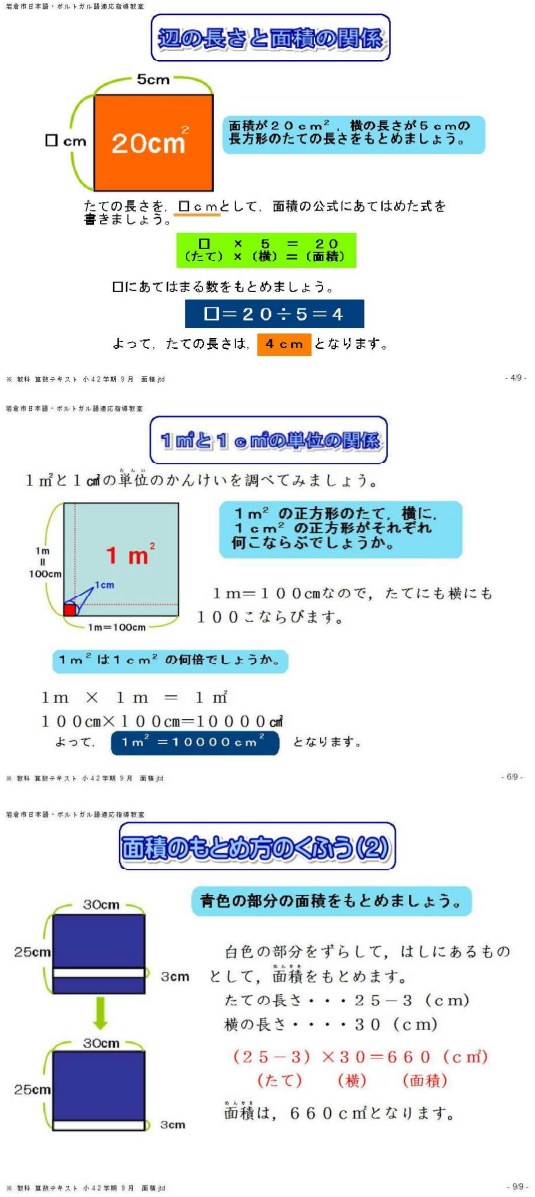

上のつばささんの考えを，１つの式に表すことを考えましょう。
次のようなことばの式をもとにして，(　)を使って表すことを考えましょう。
500－(□＋□)＝230



算数　小4　10月　ユニット・指導内容・『指導語彙・表現』テキスト，プリント

単元・ユニット	指導内容　『指導語い・表現』　S3　中級　S4　上級
10　面積【10】 ①　面積  ②　面積の求め方のくふう ③　大きな面積 	★面積の概念を理解し，面積の単位 ㎠，㎡，㎢，a，ha を知る。また，長方形や正方形の面積の公式を知り，それらを求めることができる。 長方形や正方形の面積を求める公式を活用して問題を解く。 ・方がんの1目は1cmです。 ・広さのことを面積といいます。面積は，1辺が1cmの正方形がいくつ分あるかで表します。 ・1㎠(1平方センチメートル)＝1辺が1cmの正方形の面積 ・1㎡(1平方メートル)＝1辺が1mの正方形の面積 ・長さの単位がcmのときは，単位は㎠になります。 ・長さの単位がmのときは，単位は㎡になります。 『公式』 ・長方形の面積=たて×横 ・正方形の面積=1辺×1辺 ・面積を求めるときは，長さの単位をそろえます。 〇L字型図形の求積 〇単位㎢（平方キロメートル）の理解と，㎢単位での長方形の求積 〇単位a（アール），ha（ヘクタール）の理解と，㎡の関係 ・1㎢(1平方キロメートル)＝1辺が1kmの正方形の面積 ・la（1アール)＝100㎡ ・1ha(1ヘクタール)＝10000㎡ 

【指導の流れ】　①語彙・表現・テキスト　→　② プリント(問題)　→　③ テスト　→　④評価　→　⑤課題



宮崎市日本語・ポルトガル語適応指導教室

辺の長さと面積の関係

面積が２０ｃｍ²，横の長さが５ｃｍの長方形のたての長さをもとめましょう。

たての長さを，□ｃｍとして，面積の公式にあてはめた式を書きましょう。

□　×　５　＝　２０
（たて）×（横）＝（面積）

□にあてはまる数をもとめましょう。

□＝２０÷５＝４

よって，たての長さは，４ｃｍ となります。

※ 教科 算数テキスト 小４２学期 ９月 面積.jtd　- 49 -

宮崎市日本語・ポルトガル語適応指導教室

1㎡と１ｃ㎡の単位の関係

１㎡と１㎠の単位のかんけいを調べてみましょう。

１ｍ²の正方形のたて，横に，１ｃｍ²の正方形がそれぞれ何ならぶでしょうか。

１ｍ＝１００㎝なので，たてにも横にも１００こならびます。

１ｍ²は１ｃｍ²の何倍でしょうか。

１ｍ　×　１ｍ　＝　１㎡
１００㎝×１００㎝＝１００００㎠

よって，１ｍ²＝１００００ｃｍ²　となります。

※ 教科 算数テキスト 小４２学期 ９月 面積.jtd　- 69 -

宮崎市日本語・ポルトガル語適応指導教室

面積のもとめ方のくふう(2)

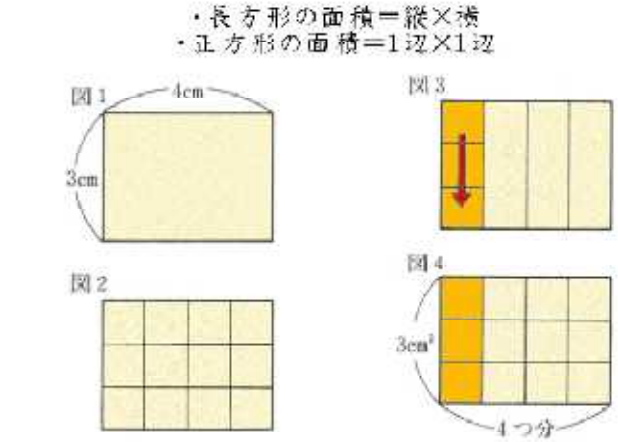
青色の部分の面積をもとめましょう。

白色の部分をずらして，はしにあるものとして，面積をもとめます。
たての長さ・・・２５－３（ｃｍ）
横の長さ・・・・３０（ｃｍ）

（２５－３）×３０＝６６０（ｃ㎡）
（たて）　（横）　（面積）

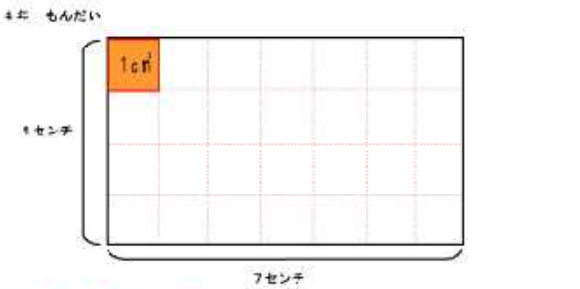
面積は，６６０ｃ㎡となります。

※ 教科 算数テキスト 小４２学期 ９月 面積.jtd　- 99 -



・長方形の面積＝縦×横
・正方形の面積＝1辺×1辺

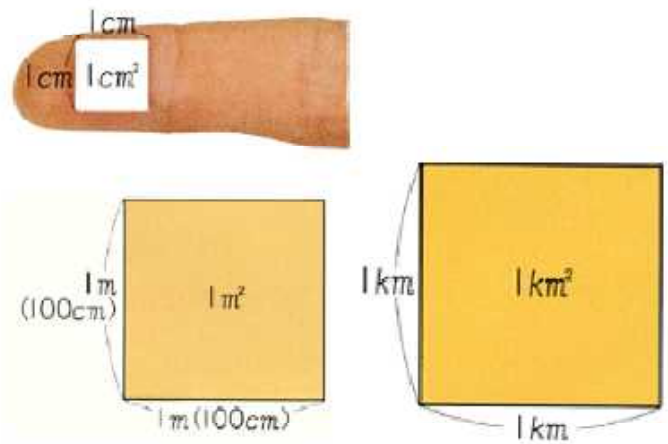
（全体の大きさ）－（基準にした大きさ）×（基準にした大きさのいくつ分）



たて４センチ 横７センチ の 長方形の 面積は どれだけですか。

４×７＝２８

答え２８cm²



小4　算数　2学期 9月　面積 ①

名前＿＿＿＿＿＿

（1）右の図の上の，まわりの長さが同じ正方形と長方形の大きさをくらべたい。そこで，2つの四角形の上に同じ大きさのタイルをならべて，くらべてみることにした。
すると，右の図の下のように正方形の上には（　　）こ，長方形の上には（　　）こならべられたので，（　　）のほうが大きいとわかる。

（2）1めもり1cmのかがんがある。黒くぬりつぶした部分の面積は何cm²か。

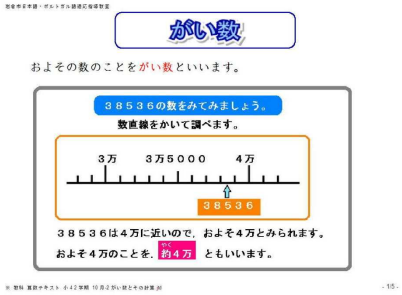
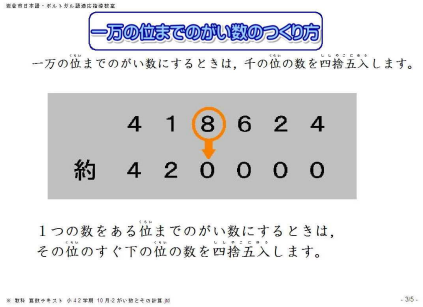
（3）右の長方形の面積を求めなさい。

（4）1辺が12cmの正方形の折り紙から，1辺が4cmの正方形を切りとりました。残りの部分の面積を求めなさい。

（5）たてが6cm，横が2cmの長方形がある。たての長さを変えないで，横の長さを4cm，6cm，8cmにのばすと面積はそれぞれ，（　　）cm²，（　　）cm²，（　　）cm²になる。

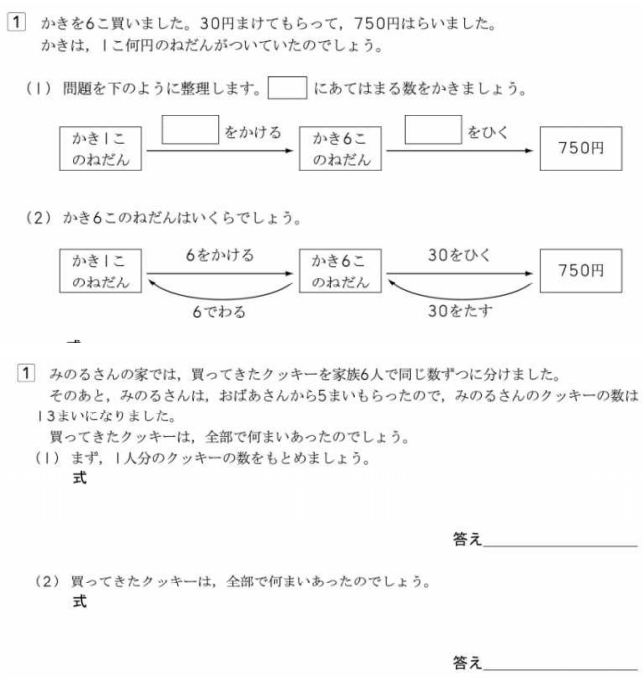
このことから，横の長さが2倍，3倍，4倍・・になると，面積は，（　　）倍，（　　）倍，（　　）倍・・・になることがわかる。

算数　小4　11月　ユニット・指導内容・『指導語彙・表現』テキスト，プリント

単元・ユニット	指導内容　『指導語い・表現』　S3　中級　S4　上級
11　がい数とその計算【8】 ①　がい数の表し方  ②　がい数の計算 ◎見積もりを使って【1】	★概数の意味を理解し，四捨五入によって概数を求めることができる。  〇概数の意味 　〇切り捨て，切り上げの意味 　〇四捨五入による概数の表し方 　〇千の位までの概数 〇ある位までの概数 　〇上から何桁の概数 〇概数を使ってグラフに表す 　〇グラフの１目盛りの決め方 ・およその数のことをがい数といいます。 ・およそ35000人のことを，約35000人ともいいます。 ・1000にたりないはしたの数に目をつけて考えましょう。(6112人) ・1つの数を，ある位までのがい数で表すには，そのすぐ下の位の数字が，0，1，2，3，4のときは切り捨てます[きりすてます]。5，6，7，8，9のときは切り上げます。このしかたを四捨五入[ししゃごにゅう]といいます。 『がい数の表し方』 ・ある位までのがい数　　・上から1けたや2けたのがい数 『はんいを表すことば』 ・以上…1300以上とは，1300に等しいかそれより大きい数 ・未満…1300未満とは，1300より小さい数(1300は入らない) ・以下…1300以下とは，1300に等しいかそれより小さい数 〇和や差の見積もり　〇乗法場面の積の見積もり　〇除法場面の商の見積もり 〇和，差，概算の用語 ・たし算の答えを和，ひき算の答えを差といいます。 ・ふくざつなかけ算の積を見積もるには，ふつう，かけられる数もかける数も上から1けたのがい数にしてから計算します。 ・ふくざつなわり算の商を見積もるには，ふつう，わられる数を上から2けた，わる数を上から1けたのがい数にして計算し，商は上から1けただけ求めます。
◎　どんな計算になるのかな【1】	★整数に関する四則演算について振り返り，理解を深める。

	○整数の加法と減法，乗法と除法の計算の仕方の振り返りとまとめ ・たし算やひき算では，数を10や100のいくつ分と考えたり，位ごとに分けたりして計算します。たし算やひき算の筆算は，これらの考え方を組み合わせたものといえます。筆算は，たてに位をそろえてかき，下の位から順に計算します。 ・かけ算やわり算では，数を10などがいくつ分と考えたり，位ごとに分けたりして計算します。かけ算やわり算の筆算は，これらの考え方を組み合わせたものといえます。筆算では，かけ算は下の位から，わり算は上の位から順に計算します。
○　もとの数はいくつ【2】	★３要素２段階の問題を，順に戻して考え解決することができる。 ○問題の仕組みを図に表す ○立式 　○図をもとにした答えの確かめ ・順にもどって考えてとく

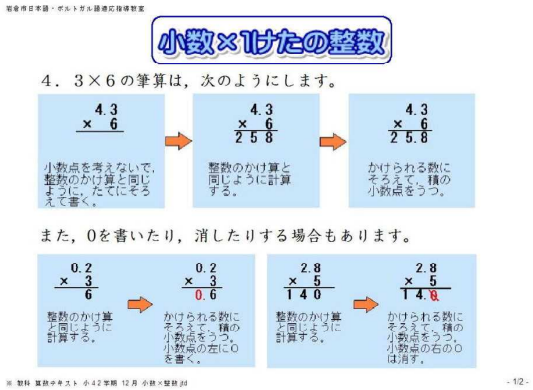
【指導の流れ】　①語彙・表現・テキスト　→　② プリント(問題)　→　③ テスト　→　④評価　→　⑤課題

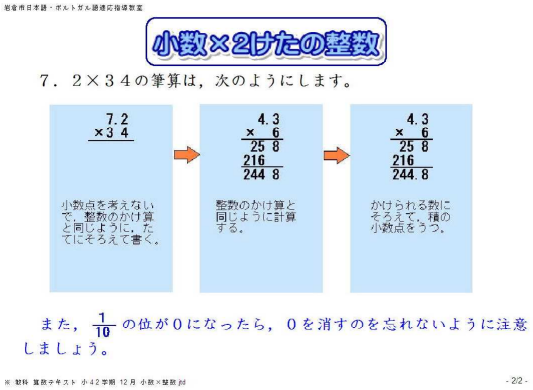


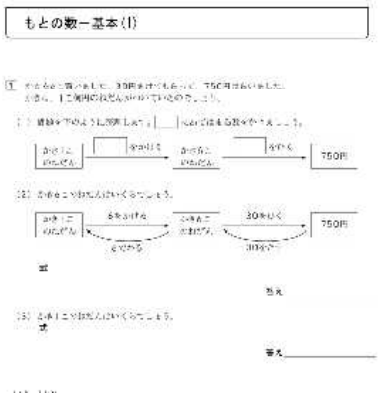
算数　小4　12月　ユニット・指導内容・『指導語彙・表現』テキスト，プリント

単元・ユニット	指導内容　『指導語い・表現』　S3　中級　S4　上級
12　小数×整数，小数÷整数【16】 ①　小数のかけ算	★(小数)×(整数)や(小数)÷(整数)の計算の仕方を理解し，計算ができる。 ○（小数)×(整数)の立式 ○(小数)×(整数)の計算の仕方 ○0.01を単位とした考え方 ○（小数)×(１位数)の筆算の仕方 (小数)×(２位数)の筆算の仕方 ○(小数)×(２位数)の筆算 ・(1本の量)×(本数)=(全体の量)
②　小数のわり算	○２÷４の計算 ○(小数)÷(１位数)の筆算 ○商が整数の位に立たない場合の筆算 ○商に空位の０が立つ筆算 ○(小数)÷(２位数)の筆算 (整数，小数)÷(１，２位数)で，わり進む場合の筆算の仕方 (整数，小数)÷(１，２位数)で，商を適当な位までの概数で表す筆算の仕方 ・0.1，0.01のいくつ分 ・商がたたない位に0をかく。 ・わり算でわり切れないときには，商をがい数で表すことがあります。

【指導の流れ】　①語彙・表現・テキスト　→　② プリント(問題)　→　③ テスト　→　④評価　→　⑤課題







小数のかけ算（小数×整数）－基本(4)

1　次の筆算をしましょう。

(1)　4.6 × 6　　(2)　5.5 × 7　　(3)　3.9 × 8

(4)　5.7 × 6　　(5)　6.3 × 4　　(6)　7.5 × 9

(7)　8.6 × 5　　(8)　1 3.7 × 4　　(9)　1 2.5 × 6

もとの数－基礎(1)

1　ルーペで、同じわだんのパンフレットを買い、あと200円のバナナをふくめると、合計で800円でした。
パンフレットのねだんはいくらでしょう。

(1)　式を下のように図にしてみましょう。□にあてはまる数をかきましょう。

パンフレットのねだん □ かけると ▶ バナナのねだん □ たして ▶ 800円

(2)　パンフレットのねだんはいくらでしょう。

パンフレットのねだん ―5をかける→ バナナのねだん ―200をたす→ 800円
5で割る　　200をひく

式

答え＿＿＿＿＿＿

(3)　パンフレットのねだんはいくらでしょう。

式

答え＿＿＿＿＿＿

小数のわり算（小数÷整数）－基本(2)

1　次のわりあてのようすをみて、しっかりやりましょう。

(1)　1.5 / 4.6 ; 4 ; 2 0 ; 2 0 ; 0

(2)　6.5 / 6) 2 2.7 ; 2 4 ; 3 0 ; 3 0 ; 0

(3)　1.3 / 5) 6.5 ; 5 ; 1 0 ; 1 0 ; 0

2　次の筆算をしましょう。

(1)　2) 6.8　　(2)　5) 8.5　　(3)　7) 9.8

(4)　8) 4 1.6　　(5)　6) 5 4.6　　(6)　4) 6 6.8

小数と整数(6－1)

学習した日　月　日　曜日

名前

年　組　番

1. 825 の $\frac{1}{10}$、$\frac{1}{100}$ の数を求めましょう。

□	十	一	0.1	0.01
8	2	5		

2. 825 の $\frac{1}{10}$、$\frac{1}{100}$ の数の小数点を右の ○ の中にかきましょう。

8 2 5
8 ○ 2 ○ 5 ○
8 ○ 2 ○ 5 ○

3. □ にあてはまる数やことばを書きましょう。

① 12.56の $\frac{1}{10}$ の数は □ です。

② 12.56の $\frac{1}{100}$ の数は □ です。

③ 52.9 は、□ の $\frac{1}{10}$ の数です。

④ 3.14 は、□ の $\frac{1}{100}$ の数です。

小5 算数 1学期 5月-1 小数×小数 小数÷小数 ①

名前＿＿＿＿＿＿

(1) 次の計算をしなさい。

3×2.5

(2) 右の図の長方形の面積を次のようにして求めた。

長方形や正方形の面積は、辺の長さが小数で表されているときも、公式を使ってかけ算で求められる。したがって、面積を求める式は

(　　)となる。

(3) たて8.5cm、横6.3cmの長方形の面積は何cm²か。

(4) 次の計算をしなさい。

91÷2.6

(5) 次の計算をしなさい。

9.3)46.5

1　0.7×3の計算のしかたを考えます。□にあてはまる数をかきましょう。

0.7…… 0.1が □ こ

0.7×3…… 0.1が (□×□) こ

0.7×3= □

☺ ☺ ☹ ☹

2　計算をしましょう。

① 0.2×2

② 0.8×4

③ 0.6×5

④ 0.7×10

⑤ 0.09×7

⑥ 0.05×10

☺ ☺ ☹ ☹

3　小数に整数をかける筆算をします。積が正しくなるように、小数点をうちましょう。

① 5.2 × 3 = 1 5 6

② 7.6 × 2 4 = 3 0 4 / 1 5 2 = 1 8 2 4

4　計算をしましょう。

① 1.7 × 5　　② 4.8 × 6

③ 0.6 4 × 3　　④ 3.2 7 × 8

⑤ 5.3 × 2 7　　⑥ 7.8 × 3 5

⑦ 4.2 7 × 5 3　　⑧ 0.9 5 × 6 0

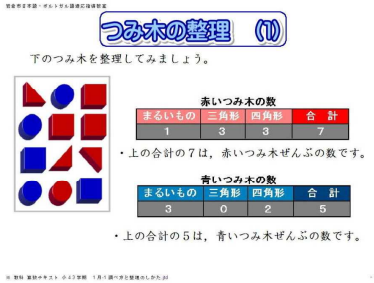
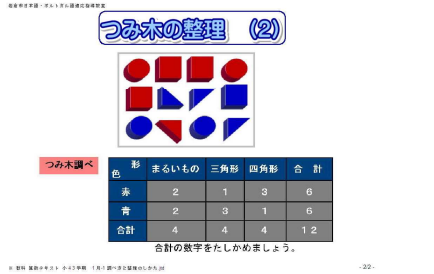
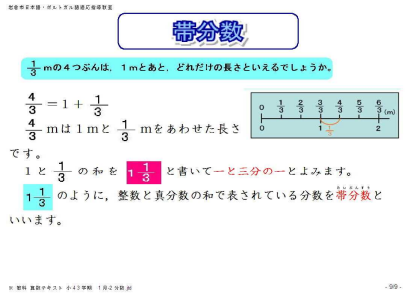
☺ ☺ ☹ ☹

5　1本の重さが1.5kgのジュースがあります。このジュース12本分の重さは何kgですか。

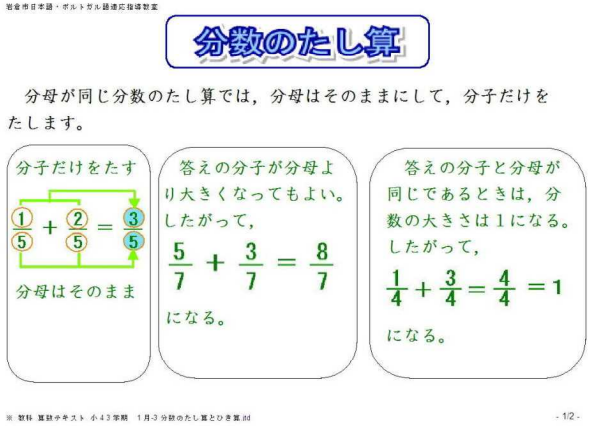
(式)

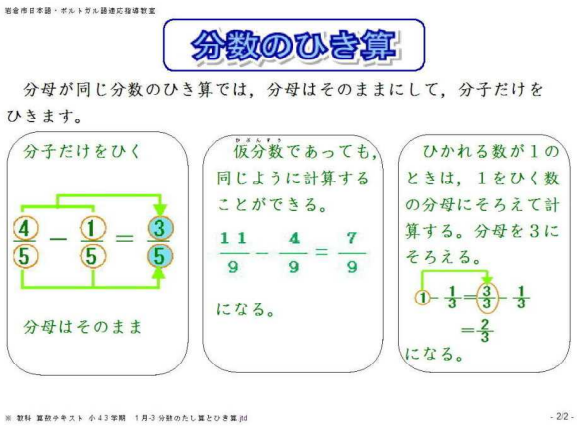
答え (　　)

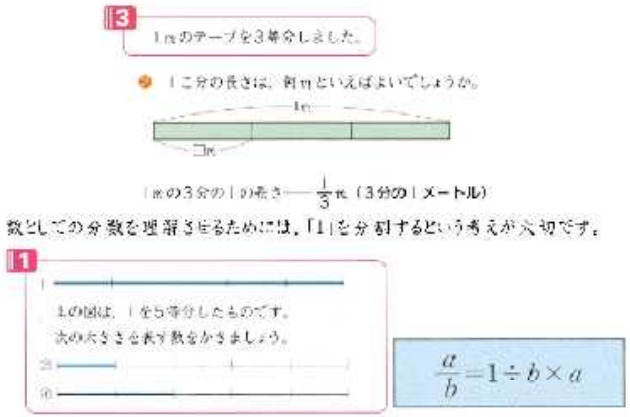
算数　小4　1月　ユニット・指導内容・『指導語彙・表現』テキスト，プリント

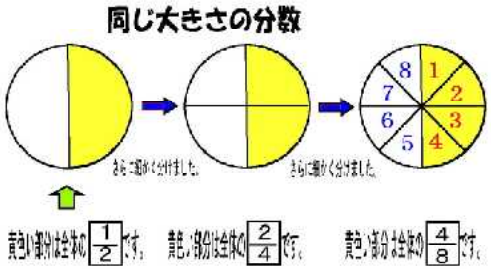
単元・ユニット	指導内容　『指導語い・表現』　S3　中級　S4　上級
13　調べ方と整理のしかた【4】  つみ木の整理　(1) 下のつみ木を整理してみましょう。 赤いつみ木の数 まるいもの 三角形 四角形 合　計 1 3 3 7 ・上の合計の７は，赤いつみ木ぜんぶの数です。 青いつみ木の数 まるいもの 三角形 四角形 合　計 3 0 2 5 ・上の合計の５は，青いつみ木ぜんぶの数です。	★身近な事象を２つの観点別に整理し，２次元の表に表して，その事象の特徴をつかむ力を深める。 〇１つの観点で１次元の表に整理すること 〇２つの観点で２次元の表に分類整理すること 〇特徴や傾向を表からよみ取ること ・2つのことがらを調べる表のかき方  つみ木の整理　(2) つみ木調べ 色＼形 まるいもの 三角形 四角形 合　計 赤 2 1 3 6 青 2 3 1 6 合計 4 4 4 12 合計の数字をたしかめましょう。
14　分数【8】 ①　1より大きい分数の表し方 ②　分数のたし算とひき算 ③　等しい分数	★１より大きい分数や等しい分数について理解し，同分母分数の加減計算ができる。 真分数，仮分数，帯分数の用語を知る。 〇分数の大小関係 ・1より小さい分数を真分数1に等しいか，1より大きい分数を仮分数[かぶんすう]といいます。 ・整数と真分数の和になっている分数を帯分数といいます。  帯分数 $\frac{1}{3}$ mの４つぶんは，１mとあと，どれだけの長さといえるでしょうか。 $\frac{4}{3}=1+\frac{1}{3}$ $\frac{4}{3}$ mは１mと $\frac{1}{3}$ mをあわせた長さです。 １と $\frac{1}{3}$ の和を $1\frac{1}{3}$ と書いて一と三分の一とよみます。 $1\frac{1}{3}$ のように，整数と真分数の和で表されている分数を帯分数といいます。 同分母分数の加法（和が１より大）や減法（被減数が１より大）の計算の仕方 帯分数の入った加法や減法の計算の仕方 ・分母が同じ分数のたし算やひき算では，分母はそのままにして，分子だけを計算します。 ・帯分数を仮分数[かぶんすう]になおして考えましょう。 分数には，分母や分子が違っても大きさの等しい分数があることを数直線を使って理解する

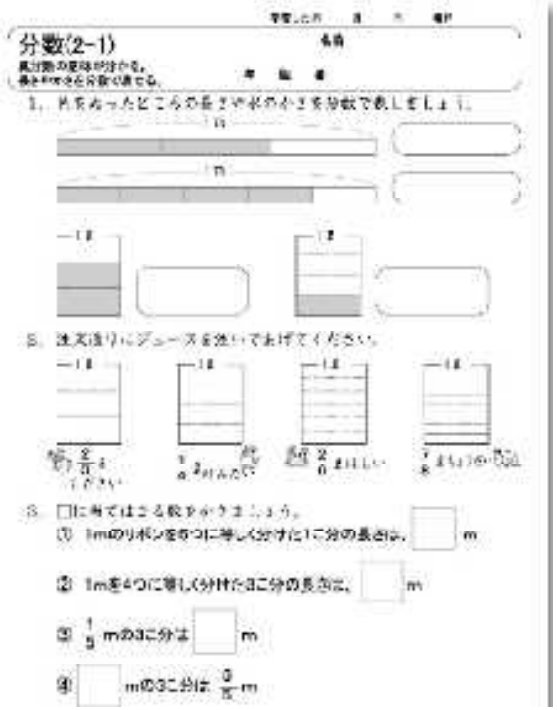
【指導の流れ】　①語彙・表現・テキスト　→　② プリント(問題)　→　③ テスト　→　④評価　→　⑤課題

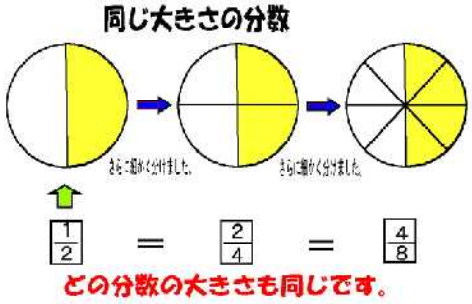








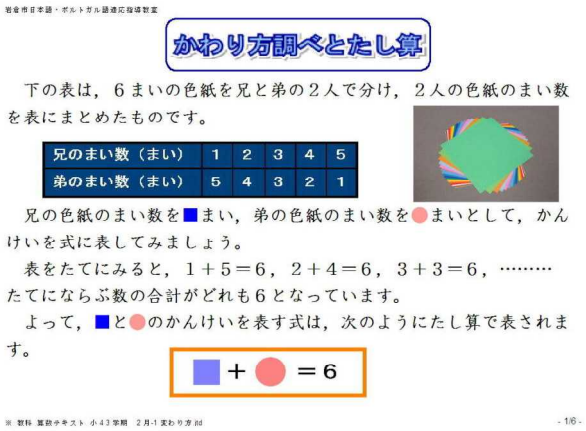




算数　小4　2月　ユニット・指導内容・『指導語彙・表現』テキスト，プリント

単元・ユニット	指導内容　『指導語い・表現』　S3　中級　S4　上級
15　変わり方【6】	★伴って変わる２つの数量の変化の様子を表や折れ線グラフにかいて調べたり，それらの関係を□，△を使って式に表したりすることができる。 ひごを使った長方形づくり（たての本数と横の本数の関係表のかき方） 伴って変わる２つの数量の関係を□や△を使った式に表す 〇関数のグラフとしての折れ線グラフ 『表のかき方』 ①表のわくを2だんに横に長くかく。 ②上のだんと下のだんに調べたものをかく。2つの量の単位を( )の中にかく。 ③上のだんを1, 2, 3, ……と1ずつふやしていき，そのときの下のだんをかき入れていく。 ・□や△を使うと，かんたんな式に表すことができる。

【指導の流れ】　①語彙・表現・テキスト　→　② プリント(問題)　→　③ テスト　→　④評価　→　⑤課題



岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室

かわり方調べとたし算

下の表は，６まいの色紙を兄と弟の２人で分け，２人の色紙のまい数を表にまとめたものです。

兄のまい数（まい）	1	2	3	4	5
弟のまい数（まい）	5	4	3	2	1

兄の色紙のまい数を■まい，弟の色紙のまい数を●まいとして，かんけいを式に表してみましょう。

表をたてにみると，１＋５＝６，２＋４＝６，３＋３＝６，……たてにならぶ数の合計がどれも６となっています。

よって，■と●のかんけいを表す式は，次のようにたし算で表されます。

■＋●＝６

※ 教科 算数テキスト 小４３学期 ２月-1 変わり方.pdf　- 1/6 -

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室

かわり方調べとひき算

下の表は，たん生日が同じ日の，１０才の姉と７才の妹の年れいのかわり方を表にまとめたものです。

姉の年れい（才）	１０	１１	１２	１３	１４
妹の年れい（才）	７	８	９	１０	１１

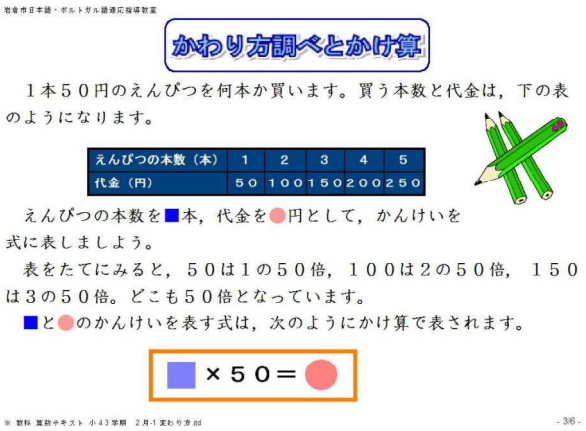
姉の年れいを■才，妹の年れいを●才として，かんけいを式に表しましょう。

表をたてにみると，１０－７＝３，１１－８＝３，１２－９＝３……たてにならぶ数のちがいは，どこも３となっています。

■と●のかんけいを表す式は，次のようにひき算で表されます。

■－●＝３

※ 教科 算数テキスト 小４３学期 ２月-1 変わり方.pdf　- 2/6 -



岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室

かわり方調べとかけ算

１本５０円のえんぴつを何本か買います。買う本数と代金は，下の表のようになります。

えんぴつの本数（本）	1	2	3	4	5
代金（円）	５０	１００	１５０	２００	２５０

えんぴつの本数を■本，代金を●円として，かんけいを式に表しましょう。

表をたてにみると，５０は１の５０倍，１００は２の５０倍，１５０は３の５０倍。どこも５０倍となっています。

■と●のかんけいを表す式は，次のようにかけ算で表されます。

■×５０＝●

※ 教科 算数テキスト 小４３学期 ２月-1 変わり方.pdf　- 3/6 -

かわり方調べとわり算

下の表は，１はこ６こ入りのみかんのはこの数と，みかん全部の数のかんけいを表にしたものです。

はこの数（こ）	1	2	3	4	5
みかんの数（こ）	6	12	18	24	30

はこの数を■こ，みかんの数を●ことして，かんけいを式に表しましょう。

表をたてにみると，６÷１＝６，１２÷２＝６，１８÷３，どれもわり算の答えが６となっています。

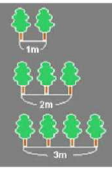
よって，■と●のかんけいを表す式は，次のようにわり算で表されます。

● ÷ ■ ＝6

変わり方とたし算・ひき算

２つの数量の関係を，表にかいたり，式に表すことで，２つの数量の間のきまりを知ることができます。

〔例〕　木を１ｍおきに植えていきます。はじからはじまでのきょりを■m，植えた木の本数を●本として，■と●の間のきまりを調べてみましょう。



はじからはじまでのきょり(■m)	1	2	3	4	5
木の数(●本)	2	3	4		

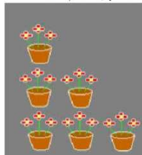
表から，■＋1＝●　というきまりがあることがわかります。

また，■＝●－1 と表すこともできます。

かわり方とかけ算・わり算

２つの数量の関係を，表にかいたり，式に表すことで，２つの数量の間のきまりを知ることができます。

〔例〕　１つの植木ばちに花を３本ずつ植えていきます。植木ばちの数を■こ，花の数を●本として，■と●の間のきまりを調べてみましょう。



植木ばちの数(■こ)	1	2	3	4	5
花の数(●本)	3	6	9		

表から，■×3＝●　というきまりがあることがわかります。

また，■＝●÷3 と表すこともできます。

変わり方ー基礎(1)

1 [illegible]

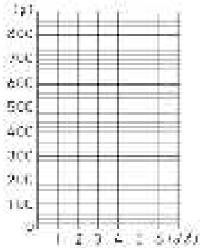
水のかさ(dL)	1	2	3	4	5	6
全体の重さ(g)	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

(1) [illegible]

(2) [illegible]

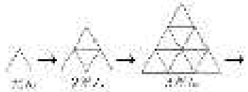
答え

(3) [illegible]



きまりを式にしてー基礎(2)

1 [illegible]



だんの数(だん)	1	2	3	4	5	6	7
まわりの長さ(cm)	3	6					

(2) [illegible]

だんの数 × □ ＝ まわりの長さ

(3) [illegible]

式

(4) [illegible]

答え

ともなって変わる量(1-1)

名前

[illegible]

①[illegible]

色板の数とまわりの長さ

色板の数(まい)	1	2	3	4	5	6	7	8
まわりの長さ(cm)	3	4	5					

②[illegible]

9まいのとき　　12まいのとき

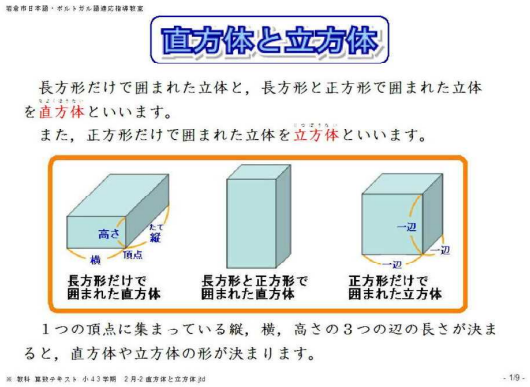
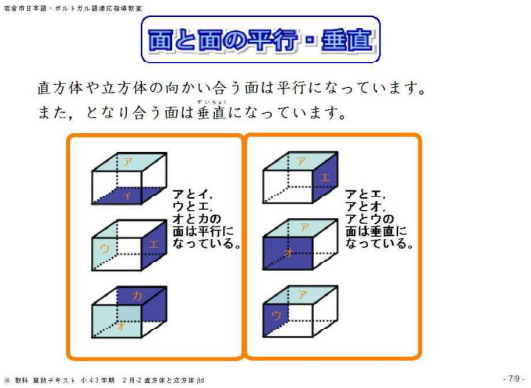
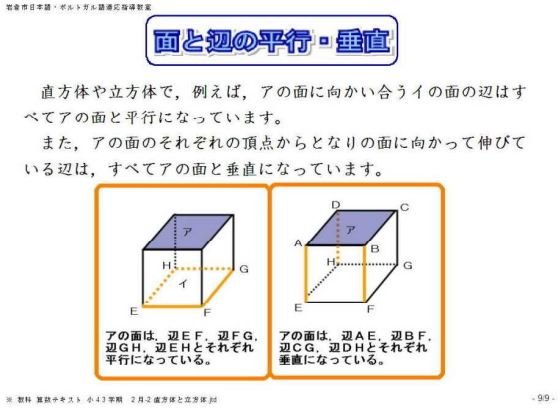
③[illegible]

「ふえるとふえる」ものに○，「ふえるとへる」ものに△をかこう。

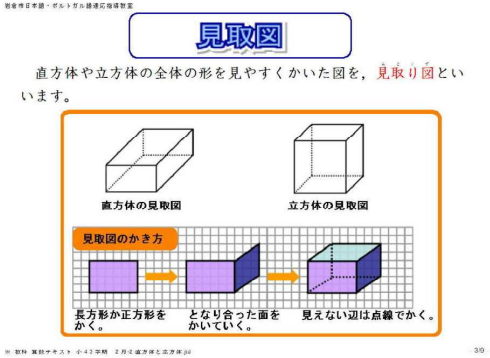
( ) [illegible]

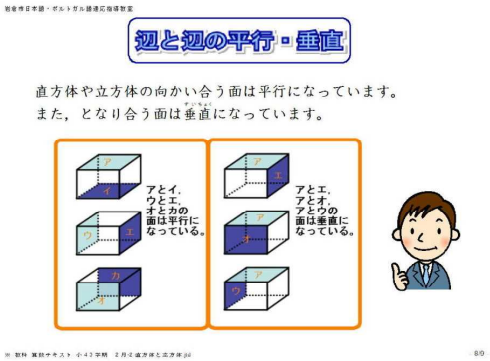
( ) [illegible]

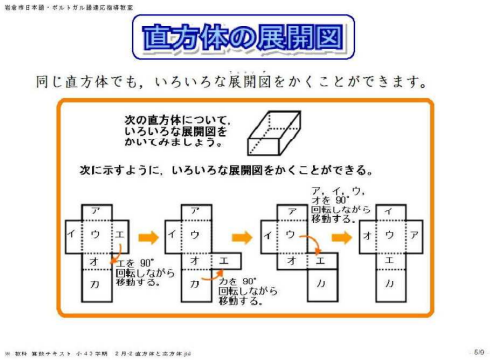
算数　小4　3月　ユニット・指導内容・『指導語彙・表現』テキスト，プリント

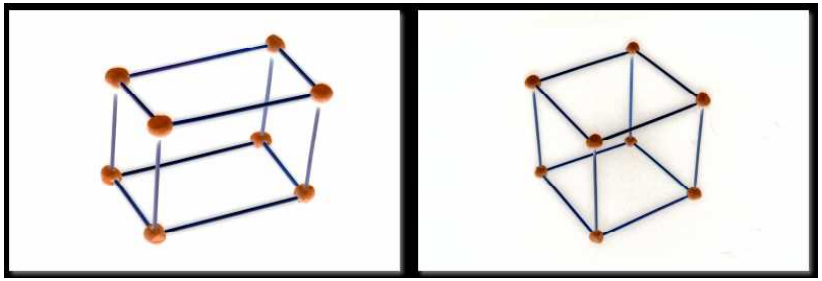
単元・ユニット	指導内容　『指導語い・表現』　S3　中級　S4　上級
16　直方体と立方体【11】	★直方体や立方体について理解し，見取り図や展開図をかいたり，つくったりすることができる。また，面や辺の関係がわかる。
①　直方体と立方体  直方体と立方体 長方形だけで囲まれた立体と，長方形と正方形で囲まれた立体を直方体といいます。 また，正方形だけで囲まれた立体を立方体といいます。 高さ　縦　横　頂点　一辺 長方形だけで囲まれた直方体　長方形と正方形で囲まれた直方体　正方形だけで囲まれた立方体 １つの頂点に集まっている縦，横，高さの３つの辺の長さが決まると，直方体や立方体の形が決まります。	〇直方体や立方体の用語とそれぞれの意味 〇直方体や立方体の面，辺，頂点の数 〇見取図のかき方 〇展開図の用語 　〇直方体の展開図と組み立て 〇立方体のいろいろな展開図をかく ・長方形や，長方形と正方形で囲まれた形を直方体といいます。 ・正方形だけで囲まれた形を立方体といいます。 ・直方体や立方体などの全体の形がわかるようにかいた図を見取図といいます。 ・辺にそって切り開いた図をてん開図といいます。 ・直方体の面のように平らな面を平面といいます。
②　面や辺の平行と垂直[すいちょく]  面と面の平行・垂直 直方体や立方体の向かい合う面は平行になっています。 また，となり合う面は垂直になっています。 アとイ，ウとエ，オとカの面は平行になっている。 アとエ，アとオ，アとウの面は垂直になっている。	直方体の面と面の平行や垂直の関係 直方体の辺と辺の平行や垂直の関係 直方体の辺と辺の平行や垂直の関係  面と辺の平行・垂直 直方体や立方体で，例えば，アの面に向かい合うイの面の辺はすべてアの面と平行になっています。 また，アの面のそれぞれの頂点からとなりの面に向かって伸びている辺は，すべてアの面と垂直になっています。 アの面は，辺ＥＦ，辺ＦＧ，辺ＧＨ，辺ＥＨとそれぞれ平行になっている。 アの面は，辺ＡＥ，辺ＢＦ，辺ＣＧ，辺ＤＨとそれぞれ垂直になっている。
③　位置の表し方	平面上にあるものの位置の表し方 空間にあるものの位置の表し方（平面上の位置に高さを付け加えて表す）

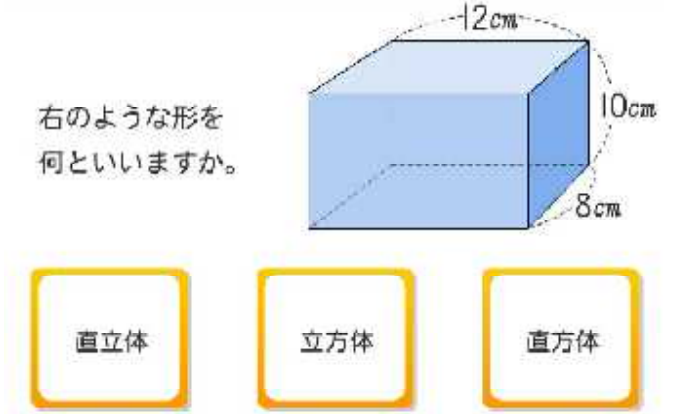
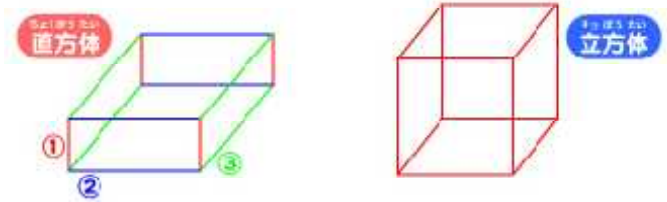
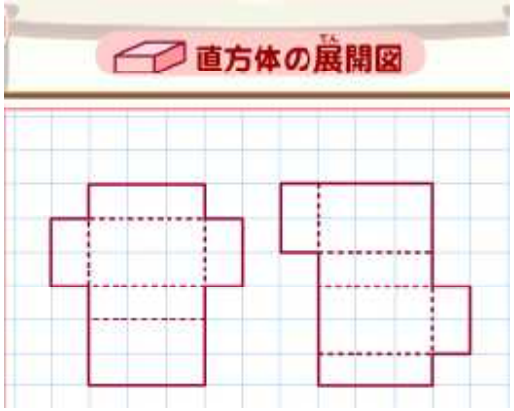
【指導の流れ】　①語彙・表現・テキスト　→　② プリント(問題)　→　③ テスト　→　④評価　→　⑤課題











	直方体	立方体
頂点	8	8
辺	12（4本ずつ3組が等しい）	12（全て等しい）
面	6	6